

とは言わせまい！

Attack) だとして、
フランクリン・デラー
ノールズ・ズヴェルト
(FDR) 大統領は、
十二月七日(米国時間
の真珠湾攻撃の日)を

結構パンチの効いた決め台詞（“punchy line”）ではないかと思うが、如何であろうか。

remember Pearl Harbor, say remember the Hull Note.”と叫ぶ人もいた。アメリカ人を含めて全世界に対して、このように叫ぶことにしよう。これは、

山下 英次

創立者・副議長

3

フランクリン・デラーノ・
ルーズヴェルト

の八十五%、連撃の日」を「恥辱の日」計画者たちは、日米戦争の参戦に反対で叫んできた。翌十二月八日、FDRは、上下両院で、戦争目的は勝つこと、FDRは、上下両院とだとしている。すなわに終結していたはずである。日中戦争が長引いた原因は、専ら米英による

に、戦いのリン本も複数出ている。一九〇六年から、米軍は、日本を仮想敵国とした「オレンジ戦争計」として「卑怯な攻撃」(「Sneak Attack」)などとして、F画」を計画し始め、その後何回も改定し、それは、一四〇〇年まで続いた。対米英戦争であった。

ザ・ハルノート」と言い返せ

また、米FDRの書いた筋書は、真珠湾奇襲はアメリカに勝利したこと、驚愕したことに驚愕した。これ以来、明確に日本は、軍の将官クラスの人々の本を脅威とみなすように勝手な対中政策が、中

[illegible]

かかし、米FDR
極めて不誠実な
に終始した。

一年四月、日米
に着任して

国太平洋艦隊司令長官
だったジェイムズ・リ
以上が、日米開戦の直
接的な原因であるが、長
て、日本やヨーロッパに

背景に日本人への
人種差別が

「門戸開放」とか「機会
均等」などという綺麗言
とを建前とした。しかし

日、東京で豊田相が米国の駐日セゾ・グループ「日本がどう長いのか具体的に民に対する戦争口実を作るために、真珠湾に向けて日本を経済的に二〇〇一年の中で述べる。同書で、R・ス・ネットは、FDRの一九九九年、国務長官のジョン・ヘイによる「門

をハル国務長官
んでいった。
珠湾の真実…ルーズベ
半球では、欧州の介入

写真で読む「東宮行啓」 日本版「昭和百生記念出版」
台北の夜に響き渡る三万五千人の万歳三唱。日
台友好の根底にはこの「感動」がある。およそ百
年もの「三三三」の「三」の四角い

- ◎グローバル社会に愛国心は不要？
- ◎教育で愛国心はどう教えられている？
- ◎日本が侵略されたら守るために戦う？
- グローバル化、多様性、戦争…

激動の時代から逃げず現実に向き合うために問

戦後八十年に考える。「国を愛する」とは？
◎「日本が好き」は愛国心か？

愛国心とは
「扶桑社新書」
戦後50年に
国を愛する
（扶桑社新書）
発行 育鵬社
千五百五十五円（税込み）

令和の君に愛国心を問う
 憂国の書經介
 貝塚茂樹著書
 『愛国心とは何か』

て、日本軍を弱体化させる。始まっていたのである。政策をとったというこ（やました・えいじ 車）とである。しかも、米英（京都）の軍需産業は大いに潤っ

でも入って来るから蒋介石政権は生き延びた。
米英両国は、自分たちは直接戦争に参加しないで、国民政府を犠牲にし

の政策は、極めて悪辣と言わねばならない。いざにせよ、実質的には日中戦争の時点で、すでに「日本対米英」戦争は

首脳陣が奥地に逃げのたぐであらう。この上
